

テーマ：

「自立活動と運動分析学について

～介助者も介助を受ける人も安心安全な移乗支援を考える～」

令和7年8月27日（水）、本校教職員を対象に、介助に関する校内研修を実施しました。

講師には、関西医科大学理学療法学科教授佐藤春彦氏をお迎えし、肢体不自由児の支援に関するご自身の経験や現在の研究内容について、実践的かつ理論的な視点からご講義いただきました。

研修では、運動分析学の観点から、介助者・被介助者双方にとって安心・安全な移乗支援の方法について学びました。佐藤教授の実体験を交えたお話は非常に具体的で、参加者からは以下のような感想が寄せられました。

「抱える物と自分の位置によって負担が変わったり、一度座ってから抱える方法があったり、日常で活用できることが多かった。」

「介助される側の気持ちを大切にしていきたいと思いました。」

今後の支援実践に活かせる学びが多く、参加者にとって非常に有意義な時間となりました。